

令和2年度決算に基づく南三陸町健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定する南三陸町における健全化判断比率および資金不足比率について、令和2年度決算に基づく算定結果は次のとおりです。

▶健全化判断比率

区分	令和2年度南三陸町比率	県内平均(仙台市を除く)	早期健全化基準(黄信号)	財政再生基準(赤信号)
実質赤字比率	- % (▲27.77)		14.78%	20.00%
連結実質赤字比率	- % (▲35.43)		19.78%	30.00%
実質公債費比率	8.1%	6.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	- %	- %	350.0%	

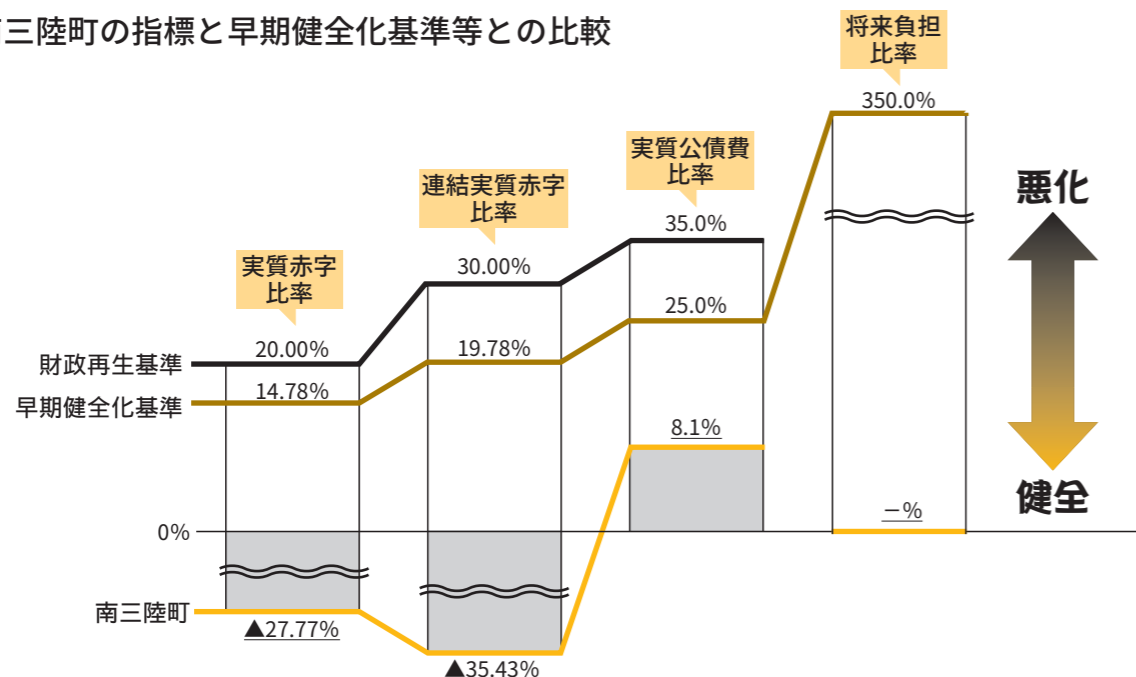
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「- (なし)」で表示し、黒字の数値を参考値として「▲」で表示しています。

▶資金不足比率

区分	市場事業	漁業集落排水事業	公共下水道事業	水道事業	病院事業	訪問看護ステーション事業
資金不足比率	- %	- %	- %	- %	- %	- %
経営健全化基準	20.0%					

※資金不足額がないため、資金不足比率は「- (なし)」と表示しています。

▶南三陸町の指標と早期健全化基準等との比較



■実質赤字比率

福祉、教育、まちづくりなどを行う町の一般会計の赤字額を、標準的な収入と比較して指標化したものです。令和2年度も黒字決算となったことから、算定されていません。

■連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算して、町全体の資金不足の程度を把握するため、標準的な収入との比較により指標化される比率です。全会計黒字決算となっていることから、算定されていません。

■実質公債費比率

標準的な収入に対する一般会計の実質的な借入金返済額割合を指標化したものです。令和2年度は、早期健全化基準未達となっていますが、前年度と比較して1.6%増加しました。災害公営住宅建設のために借入した地方債の償還開始に伴い、借入金償還額が増加したことが主な要因です。

■将来負担比率

借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。令和2年度は、一般会計の財政調整基金や寄附金による震災復興基金の積立金があることなどから、算定されていません。

※標準的な収入(標準財政規模) → 53億5,122万円(令和2年度)

借入金(町債・企業債)の状況

町では、公共施設を整備するために借入金などで資金を調達しています。

一般会計では、衛生センターおよびクリーンセンターの設備更新や入谷公民館の建設のためなどに、過疎対策事業債(4億6,600万円)の借入れを行いました。また、台風19号により被害を受けた公共土木施設および農林施設の災害復旧工事のために、災害復旧事業債(8,540万円)を借入れ、令和2年度の借入総額は9億8,198万8千円となりました。借入総額のうち、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債の借入額は1億6,450万円で、約16.8%を占めています。

他会計においては、令和2年度の借入れは行いませんでした。

町としての令和2年度末現在高の合計額は157億8,420万7千円となり、前年度末から約5億6,674万7千円減少しています。

区分	令和元年度末現在高	令和2年度借入額	令和2年度償還額	令和2年度償還免除額	令和2年度末現在高
一般会計	140億4,167万2千円	9億8,198万8千円	13億642万7千円	598万6千円	137億1,124万7千円
市場事業特別会計	593万8千円	0円	593万8千円	0円	0円
漁業集落排水事業特別会計	7,382万7千円	0円	830万4千円	0円	6,552万3千円
公共下水道事業特別会計	4億6,283万9千円	0円	3,765万円	0円	4億2,518万9千円
水道事業会計	15億2,073万円	0円	1億5,296万3千円	0円	13億6,776万7千円
病院事業会計	2億4,594万7千円	0円	3,146万6千円	0円	2億1,448万1千円
合計	163億5,095万3千円	9億8,198万8千円	15億4,274万8千円	598万6千円	157億8,420万7千円

令和2年度 特別会計・企業会計決算

特別会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
国民健康保険特別会計	20億949万5千円	18億5,829万4千円	1億5,120万1千円
後期高齢者医療特別会計	1億4,738万5千円	1億4,084万6千円	653万9千円
介護保険特別会計	16億5,746万1千円	16億875万6千円	4,870万5千円
市場事業特別会計	3,057万7千円	2,863万円	194万7千円
漁業集落排水事業特別会計	2,514万5千円	1,794万8千円	719万7千円
公共下水道事業特別会計	1億9,842万円	1億4,897万9千円	4,944万1千円

企業会計区分		予算額	決算額
水道事業会計	収益的	収入	7億2,150万円
		支出	7億2,136万5千円
	資本的	収入	22億8,131万6千円
		支出	24億9,913万3千円
病院事業会計	収益的	収入	22億3,482万5千円
		支出	22億3,482万5千円
	資本的	収入	6,112万9千円
		支出	6,112万9千円
訪問看護ステーション事業会計	収入	4,921万8千円	
	支出	4,921万8千円	